



# 令和 5 年度 議会運営委員会行政視察報告書

令和 6 年 1 月 2 9 日 (月) 愛知県尾張旭市  
「親子議会探検ツアーについて」

令和 6 年 1 月 2 9 日 (月) 岐阜県可児市  
「こども議会・高校生議会について」

上記の視察項目について全委員の報告書を添付し報告とします。

議会運営委員会	委員長	月岡 修一
	副委員長	林 ゆきひろ
	委員	岡島 ゆみこ
	委員	青木 けんじ
	委員	鈴木 智和
	委員	こんどう のぶお
	委員	武谷 としお
	委員	毛受 明宏

令和6年1月29日 豊明市議会 議会運営委員会 行政視察

参加議員

議会運営委員会 委員長 月岡 修一

議会運営委員会 副委員長 林 ゆきひろ

議会運営委員会 委員 岡島 ゆみこ

同 上 青木 けんじ

同 上 鈴木 智和

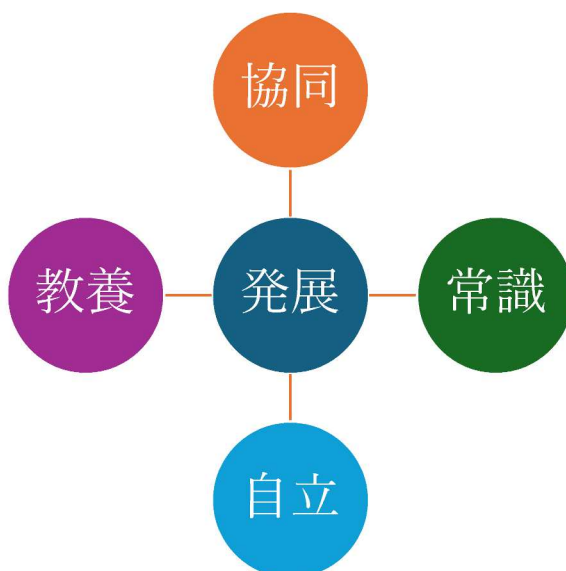
同 上 こんどう のぶお

同 上 武谷 としお

同 上 毛受 明宏

随行 議会事務局 局長 浅井 俊一

豊明市議会の理想を求めて



# 議会運営委員会 行政視察 報告書

報告者 月岡 修一

令和6年1月29日（月）行政視察 午前中：尾張旭市役所 午後：可児市役所

## ◎尾張旭市議会 視察報告

視察日時 令和6年1月29日（月）午前10時から11時30分

説明者 議会事務局 議事課 水野彰子庶務係長

### 1. わくわく親子議会探検ツアー実施内容

#### 目的

次代を担う子どもたちとその保護者に、尾張旭市議会及び市政への理解と関心を深めてもらう。

### 2. わくわく親子議会探検ツアー実施内容

開催日時 令和5年8月10日（木）午前10時30分から正午まで

開催場所 尾張旭市役所 議場外

開催方法 市内在住の小学生4～6年生の児童とその保護者を対象に市議会クイズ、議場等の探検、記念撮影などを実施

参加者 29名（内訳：10名、同伴の子8名、保護者11名）

募集方法 先着12名 二次元コードを使用した募集

### 3. わくわく親子議会探検ツアー実施内容

#### 当日の流れ

- ① 開始ブザー
- ② 議長あいさつ
- ③ 副議長あいさつ
- ④ 市議会の説明（議会運営委員長）
- ⑤ 市議会クイズ（正副議長）
- ⑥ あさびーと記念撮影
- ⑦ 探検ツアー（正副議長、議会運営委員長、3常任委員会委員長）
- ⑧ 議長評価
- ⑨ 修了証授与（議長から授与）
- ⑩ アンケート記入

#### 4. わくわく親子議会探検ツアー実施内容

##### 市議会の説明

議会運営委員長によるパワーポイントを使用した市議会の説明を行いました。

【説明内容の抜粋】※市議会クイズのヒントが隠されています。

- 市議会ってなあに？
- 市議会は何をしているの？
- 市議会議員ってどんな人？議長ってどんな人？
- 市議会の仕組みって？
- 本会議は見れるの？
- 議場はどうなっているの？

5. 市議会クイズの内容と様子については割愛させていただきます。

6. わくわく親子議会探検ツアー実施内容と「探検ツアー」の様子については割愛させていただきます。

#### 7. わくわく親子議会探検ツアー結果（参加児童のアンケート結果）

##### ☆ 尾張旭市議会のことがよく分かったか

よくわかった	9名
少しわかった	1名
あまりわからなかった	0名
わからなかった	0名

##### ☆ 探検ツアーの時間について

長かった	0名
ちょうどよかった	7名
短かった	3名

#### 8. わくわく親子議会探検ツアー結果（参加児童のアンケート結果）

- とても楽しかった。
- 説明がわかりやすかった
- 議会を全く知らなかったけど、今日のおかげでよくわかった。
- 議会がかたいイメージがあったけど、議員の方や議長、副議長の話にユーモアがあって楽しかった。
- 市議会が市にとって大事な役割だということを、改めて知って応援したくなった。
- 議場がかっこよかった
- また来たい

## 9. わくわく親子議会探検ツアー結果

### 総括

- 尾張旭市議会の主催とし、正副議長、議会運営委員長、常任委員会委員長が自ら、市議会クイズや探検ツアーを行うことで、市議会や議員を身近に感じてもらうことができ、参加児童から好評でした。
- 今後の課題として、より多くの児童に「わくわく親子議会探検ツアー」に参加してもらえるよう、開催方法等を検討していく必要があります。

## 10. 尾張旭市議会の主催者教育について

- その他の主催者教育

年 度	内 容
令和元年度	議会改革推進特別委員会において、「市議会と高校・大学との連携」について諮られ「意見交換会」を実施することが認め合われた。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により開催できず。
令和3年度	「高校生議会」を実施するが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から縮小開催。
令和4年度	「大学との意見交換会」を実施
令和5年度以降	現時点で今後の開催予定なし。

### (感想)

尾張旭市議会議員の皆さんの、議会の改革に取り組む姿勢が素晴らしいです。

市民から（児童・生徒・高校生 等も含む）広範囲に意見を頂くことの重要性に改めて気づきました。豊明市議会も真摯な気持ちで市民と向き合う姿勢をさらに明確化して行かねばならないと感じています。

## ◎可児市議会 視察報告

視察日時 令和6年1月29日(月) 午後1時30分から3時00分

### ○開催の経緯・目的について

- ・可児市の魅力を知る場
- ・地域への愛着や当事者意識の醸成
- ・広い視野や新しい経験の獲得
- ・社会や学問のつながりの実感

ふるさと発展に寄与する人材育成

地域課題解決型キャリア教育

### 1. 子ども議会

平成16年より毎年実施している

◇平成27年1月24日(土)

広見小学校の6年生134人を招いて「子ども議会」を催した

- ・「10万人の地方都市、財政難になった今どうやりくりすればいいのか」児童たちが意見をぶつけ合った

<僕たちが考える財政策>

- 1) クーラーあきらめて扇風機で我慢
- 2) 市民プールを土、日、だけの営業で良い

◇令和2年11月17日(火)

帝京大学可児小学校6年生 41名による子ども議会

・内容

- ① 議会ってどんなところ？
- ② 議会体験をしてみよう(財政難の中、どの事業を廃止するか意見を出し合い、最後に採決を行う)
  - 1) 子ども医療費助成の廃止
  - 2) お年寄り向け無料バスの廃止
  - 3) 市立図書館の廃止
  - 4) 市民温水プールの廃止

### 2. 中学生議会

◇令和4年8月20日

(市長・教育長・議員13名・中学生9名・職員)が参加

- ・西可児中学校の3年生が主催者教育の一環として、授業で出された各クラスの意見や政策を参考に、1班、2班に分かれ、可児市が抱える地域課題や政策について考え、ユニークな案を提案しました。

#### 1班)「SNSでバズる！」

子どもたちにとって住みよい街であるためにはどうすればいいのか、若い人たちが集まってくるには？

- \* まずは可児市の魅力を市内外に発信しよう！

「やってみた動画」

「100日後に話題になる市長」

※議員などのやらない人がやらないことをする、市民と議員との距離を縮められるのでは？

#### 2班)「将来の西可児を考える（空き家問題）」

- \* 高齢化が進む西可児地域が住みよいきれいな街であってほしい！

- \* 地域課題である空き家問題を解決するには？

「空き家相談のワンストップ窓口を作って売却、賃貸などに詳しい専門家や、税金、法律に詳しい担当者を置いて空き家放置のリスクや支援策を周知しては？

「SNS」でも発信を

「更地にした場合、地域のコミュニティーとして再生することで固定資産税を非課税としては？

### 3. 高校生議会

- ・平成26年2月 若い世代の意見を聞く機会をどう設けるか意見交換し意見書を採択。  
(議員16名 大学生2名 高校生24名 職員15名が参加)
- ・平成27年2月 子育て支援をテーマに意見を交換し、意見書を採択。  
(市長 議員21名 子育て支援団体10名 高校生24名 職員8名が参加)
- ・平成28年2月 来年度のキャリア教育活動計画について話し合い、意見書を採択。  
(市長 議員22名 支援団体13名 高校生29名 職員4名が参加)
- ・平成29年2月 行政実務をクロスロード的な手法により議論し、議場において発表。  
(市長 議員 支援団体13名 高校生29名 職員が参加)

#### ◇第7回高校生議会

- ・令和2年2月5日 2部制で議員との意見交換や報告・質疑応答などが行われました。  
(市長 議員22名 高校生25名 職員 )

◇第8回高校生議会

令和4年3月25日 コロナ禍のため、成果発表という形式で（2部制）で活動報告やマニフェスト提案などが行われました。

（市長 議員17名 高校生16名 職員 ）が参加

\*第一部 生徒が調査・研究を進めている3つのプロジェクトに関する活動報告

- ・① 「環境」・・・・・・・・環境課題に向けて
- ・② 「教育・福祉」・・・・福祉政策や子どものメンタルヘルス
- ・③ 「可児市のブランディング戦略」・・・・移住促進に向けて

\*第二部 模擬選挙のマニフェストから市への提案

- ・① 教育の経済的支援、外国籍市民への支援
- ・② 平等に医療が受けられ、健康で生活ができる都市
- ・③移住促進政策

◇第9回高校生議会

令和5年3月24日

可児高等学校 探求学習の成果発表

<実際参加した高校生の感想>

- ・① 活動する中で苦労もあったが、議員や市長からの意見、質問などから新しい視点に気づくことができ、今後の活動の糧になった
- ・② 地域課題の解決のためには市民が賛同できるものである必要があり、しっかり説明して理解してもらう必要があると強く感じた。
- ・③ 「税金を使ってお金を出して支援すればよい」ものではなく、支援後の未来を見据えた持続可能なものである必要があると感じた。

議会側

- ・① 若い世代と交流し意見交換することで、多様な声を拾い上げ地域課題に対する新たな認識や取り組みへのきっかけとすることができる。
- ・② 高校生などの若い世代側：様々な大人と接し、地域課題を自ら考えるきっかけとなり、高校生議会などを通じて今後は地元市民や他の学校などと連携して活動してみたいといった声もあり、その場限りのものではなく可児市のために何ができるか原動力の一つとなっているのではないかと感じた。

（感想）

可児市議会議員の皆さんの洗練された感性が素晴らしい議会活動の源になっていることがよく理解ができました。議員の皆さんが共に市政発展のために全力を尽くし、その行動が市民から共感を受けている、正に議員活動のお手本であるといっても過言ではない。



# 議会運営委員会 視察報告書

林 ゆきひろ

「わくわく親子議会探検ツアーについて」 (R6. 1. 29 視察)

## 1. 愛知県尾張旭市

### ① 視察概要

(尾張旭市議会)

人口： 約84,000人  
議員定数： 20名  
平均年齢： 57.8歳  
事務局職員： 6名

#### 【わくわく親子議会探検ツアーの概要】

開催日時： 令和5年8月10日

10時30分から12時

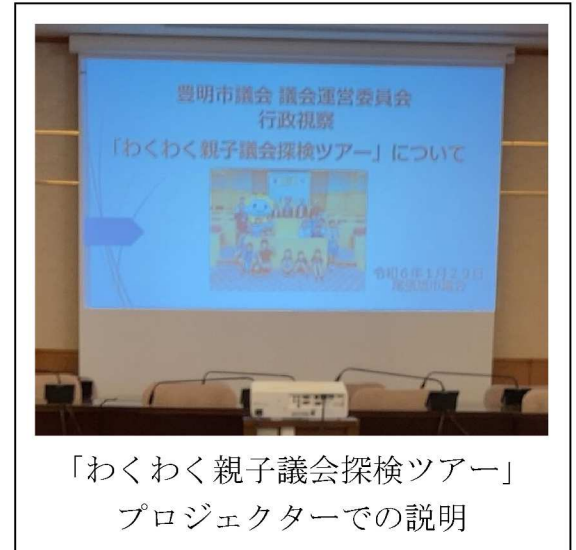
対象： 市内在住の小学生4～6年生の児童とその保護者

参加者： 先着12組 (29名内訳：児童10名、同伴の子8名、保護者11名)

実施内容： 市議会の説明、市議会クイズ、議場等の探検、記念撮影など

担当議員： 議長、副議長、議会運営委員長、3常任委員会委員長

その他の議員は傍聴可



尾張旭市議会では、令和元年から事務局主催で「わくわく親子議会探検ツアー」を開催。コロナ禍により、しばらく実施できていませんでしたが、今年度8月に市議会主催で、「わくわく親子議会探検ツアー」を開催しました。

開催までのスケジュールは、5月の開会議会後（議長・副議長の決定後）に議長、副議長に確認を行い、6月2日に議会運営委員会で承認。6月20日に全議員で実施を決定しました。その後、7月15日の市の広報で告知し、チラシ等を作成して、公共施設や学校などで周知したとのことでした。申込期間を7月20日～31日と設定していましたが、申し込みが開始されると、すぐに定員いっぱいになってしまったと説明がありました。また、参加者からは、「市議会のことを知れて応援したくなった」「また参加したい」など高評価の意見が多かったとのことでした。

## ② 所感

今回の視察目的である「わくわく親子議会探検ツアー」の説明だけでなく、高校生議会や大学生との意見交換会などの説明もいただきました。議会が様々な方との交流を行うことで、市民にとって身近に感じられるようになります。

本市においても、議会報告会や地域との意見交換会を開催していますが、子どもや若い世代などにもアプローチする方法を考える必要があります。昨年度は、子ども議会の開催に向けて準備を進めていましたが、コロナ禍でもあり、学校との調整が難しく、開催までに至りませんでした。子ども議会以外にも、尾張旭市議会が開催しているような「わくわく親子議会探検ツアー」を行う方法もあるので、今回学んだことも参考に本市でも取り組んでいく必要があると考えます。

## 「議会改革（高校生議会、子ども議会等）について」

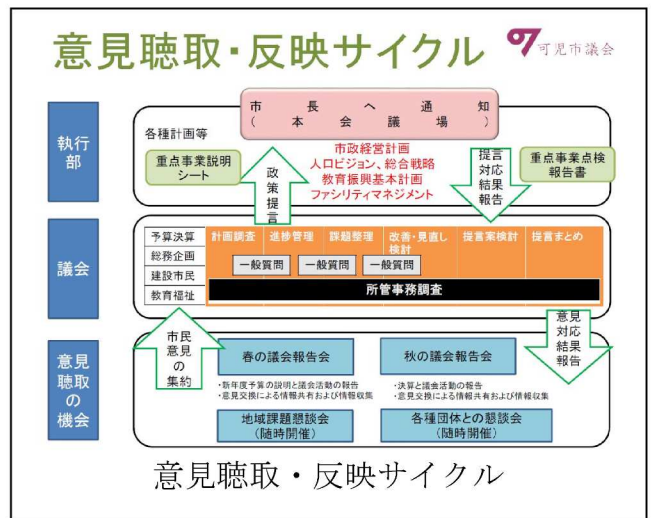
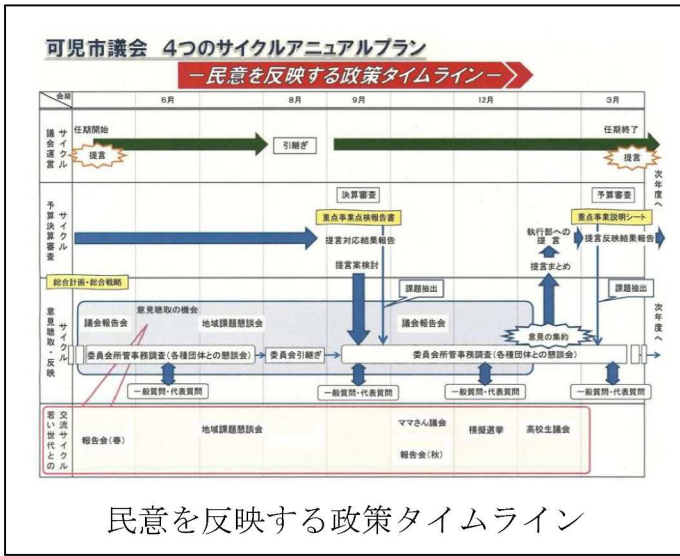
### 2. 岐阜県可児市

#### ① 視察概要

（可児市議会）

人口：	約100,000人
議員定数：	22名
平均年齢：	61.2歳
事務局職員：	6名

可児市では、平成17年から議会改革に取り組み、これまで様々なことに取り組んでいました。大学との連携をはじめ、高校のキャリア教育支援、高校生議会、子ども議会、中学生議会、ママさん議会、模擬選挙、議会報告会、地域課題懇談会、各種団体との懇談会、委員会代表質問などなど、様々な取り組みを行っており、説明をいただきました。また、そういった場で聞き取った市民の方からのご意見を市政に反映させていくための仕組みとして、「民意を反映する政策タイムライン」や「意見聴取・反映サイクル」などを作成し、しっかりと意見を反映させる流れが考えられていました。



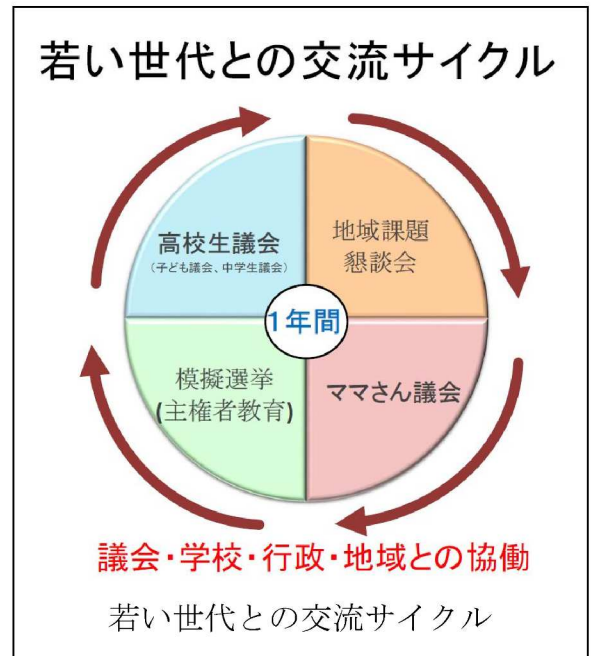
## ② 所感

可児市議会の議会改革に対する取り組みは、全国的に見ても、先進的な取り組みが多々あり、様々な世代、分野の方から意見を聞き、それを市政に反映させていく仕組みが考えられていました。

市民の方々が議会と身近に感じられるような多種多様な取り組み、市民の方々の意見を市政に反映させる取り組みをさまざま実施しており、1つ1つ質問していると、視察の時間があっという間でした。

説明をお聞きして、本市の市議会と比較すると、理想的とも言える議会の取り組みが行われていると感じましたが、可児市議会としては、まだまだ途上とのことで、さらにブラッシュアップしているとのことです。

本市では、いきなり全てを実施することは難しいと感じましたが、1つ1つ着実に取り組み、市民の方が議会を身近に感じられるように、市民の方々と意見を市政に反映させていけるように、本市の議会改革を進めなければならないと改めて感じました。



# 豊明市議会 議会運営委員会 行政視察

令和6年1月29日(月) 尾張旭市議会・可児市議会

岡島 ゆみこ

## 1 「わくわく親子議会探検ツアー」について

尾張旭市役所 10:00～11:30

[わくわく親子議会探検ツアー]視察するにあたり、当議会運営委員会より10項目の質問を提示

### ① 「わくわく親子議会探検ツアー」開催の経緯、目的

平成24年～30年度まで市長を囲む子ども会議（市長部局担当）において議場を使用して子ども議会を実施。令和元年～子ども議会を実施せず、議場も使用しなくなった。

令和元年度議会事務局主催で「わくわく親子議会探検ツアー」を開催

令和2年度～4年度コロナで不開催

令和5年度 市議会主催で開催

令和元年度より子供たちに議会の事を知ってもらう機会を喪失。後、議会事務局で令和元年度から子供たちにもっと議会を知ってもらう機会をつくる目的で「わくわく親子議会探検ツアー」を開催

令和5年～市議会主催に変更し、議員自ら説明や案内を行うスタイルで実施

議長、副議長、議運委員長、常任委員長で行っている。

目的は次世代を担う子どもたちとその保護者に尾張旭市議会及び市政への理解と関心を深めてもらう事。

### ② 参加者募集方法、時期

教育委員会へチラシデータを送信し、保護者へ配布してもらう。担当部局に依頼をかける。

チラシ、広報の作成は議会事務局が担当

時期は本会議が行われず、学校の休みが重なる時が夏休み月なので、8月に実施。

募集期間を設定し、人数に達した時点で締め切る。

### ③ 小学生に議会を知ってもらうための工夫

議員による市議会の説明、クイズ、市のキャラクターとの記念撮影、探検ツアーで議場、議長室などを案内。

### ④ 開催に当たりハードルとなった事。特になし

### ⑤ 事前準備について

すべて事務局で準備。参加者と保護者への事前説明はなし。

### ⑥ 当日運営について

2グループに分かれて行う。

ツアー探検場所⇒議場、第1委員会室、議長応接室、正副議長室、議会図書室、第2委員会室

正副議長、議運、常任委員会委員長がそれぞれの場所で説明を行う。

子どもに楽しんでもらうための工夫として、シールラリー、クイズなどを用いて記念品をプレゼントする。

探検ツアー終了後には終了証を授与する。

⑦ 子ども、保護者のアンケート結果

- ・議会のことがよく分かった
- ・丁度よい長さだった
- ・とても楽しかった
- ・議長たちの話がユーモアがあって楽しかった
- ・また来たい

など、概ね好評な結果だった。

その他 経費は飲み物代（人数分）のみ、記念品は在庫を対応したためかかっていない。

市議会の主催とし、議員たちがクイズの出題、ツアー案内を行うことで市議会や、議員を身近に感じてもらえた。今後の課題は、より多くの児童に参加をしてもらえるように開催方法などを検討していく。

「わくわく親子議会探検ツアー」のほかに主権者教育を令和元年度～令和4年度まで実施。

地元の高校、大学で募集を行ってもらい、各常任委員会のテーマを設定し、「意見交換会」を実施していたが、令和5年度以降は開催予定なし。

## 所感

あくまでもツアーなので議場、委員会室などの各部屋に案内しクイズなどで楽しんでもらい、親しんでもらう事が目的。意見交換や疑似議会ではないため、事前の選出、打ち合わせの必要がない。

身近に感じてもらうという目的なので、応募先着順で決めることも最良であると思われる。

子ども議会となると、事前に選出のための質問内容のチェックなど、実施するまでに時間が必要となってくる。

その点、主権者教育の市議会、高校、大学の連携については、学校で募集をしてもらい、テーマは議会側で提案するという形で発表してもらおうという方法は相互に有益な試みだと思う。

## 2 議会改革について（高校生議会、子ども議会等）

可児市役所 13：30～15：00

### 高校生議会

議会主催で大学生、高校生、職員が参加し、H26～H29

「若い世代の意見を聞く機会をどう設けるか」

「子育て支援」「キャリア教育活動計画」等についてそれぞれの支援団体を得て開催

テーマについて意見交換をし、行政実務とクロスロード的な手法で議論し議場で発表する事を実施  
令和2年度からは市長、議員、高校生、職員が参加で3つのテーマを決め、意見交換、調査・研究  
をした活動報告を発表。

模擬選挙では立候補者の選挙公約をもとに、市への提案を行う。模擬選挙を実施することにより選  
挙管理委員の職員、議員などと交えて数回の打ち合わせをするなど、今までに関わりのなかったも  
のに少しずつでも接し、理解が深まっていくようになる。

つながっていない「学生と社会」などに接点ができる。知識程度を実際に疑似により経験する事で  
次へつながり、関心を持つようになる。

子ども議会においてはH16年より実施。令和2年度では小学6年生41名が参加。

決まっているテーマで意見を出し合い、最後に採決を行うスタイルで実施。

架空上の市、学校を想定し、財政難などをテーマにアイデアを出し話し合う。その過程で議会のシ  
ステム、行政、議員の役割などを学べる。

中学生議会；中学3年生が主権者教育の一環として各クラスの意見や政策を参考に、自分の住んで  
いる市について、問題や地域の課題、政策を考える。地域の事を深く考える契機となる。

ママさん議会；ワークショップで事前企画会議として議論し、テーマを決定する。

その後、ママさん議会で意見交換会を実施し、採択された意見書を執行部へ提言する。

### 所感

子ども議会、高校生議会、ママさん議会と世代別にそれぞれの議会がテーマを作り意見交換をし、  
提案することにより、児童や生徒は行政や議会に関心を持つようになる。

テレビやSNSで見聞きしているだけでは「知っている」「聞いたことがある」という範ちゅうから  
出ることはなく、動き出す「何か」はない。

小・中・高校生議会で模擬選挙をすれば、仕組みがわかり、意識が芽生え、理解が深まる。

参加した学生たちのみならず、市長、議員側にも学べる要素は多いと思われる。

一つの契機が新たな意識、認識へとつながるので、関心を持ってもらう事が大切である。

受動的な事柄を能動的にそして、積極的になれば選挙投票率などの問題や自分の住んでいる街に関  
心を持ち愛着が生まれ、反感的な意見や思想でなく、肯定的にそして前向きな意見交換が出来るよ  
うになるのではないかと思われる。

## 尾張旭市役所



## 可児市役所



## 議会運営委員会 行政視察報告書

報告者 青木 けんじ

視察日 : 令和6年1月29日(月)

視察先 : 愛知県尾張旭市

- ・「親子議会探検ツアー」について  
岐阜県可児市
- ・「子ども議会、高校生議会」について

### 【尾張旭市「親子議会探検ツアー」】

#### ○わくわく親子議会探検ツアー開催経緯

- ・平成24～30年度は、市長部局が担当していた「市長を囲む子ども会議」で議場を使用した子ども議会を実施していたが、令和元年からは「市長を囲む子ども会議」で、子ども議会を実施しなくなったことにより、子どもたちに議会を知ってもらう機会が喪失した。
- ・子どもたちにもっと議会のことを知ってもらう機会をとして、議会事務局主催で「わくわく親子議会探検ツアーを」令和元年8月に開催。
- ・令和2年から4年までは、新型コロナウイルス感染症により、不開催や開催中止となった。
- ・令和5年度は、子どもたちに議会や議員をもっと身近に感じてもらうために、議会事務局主催から市議会主催に変更し、議員自ら説明や案内を行った。

#### ○わくわく親子議会探検ツアー実施内容

- ・目的  
次代を担う子どもたちとその保護者に尾張旭市議会や市政への理解と関心を深めてもらうため。
- ・開催日時  
令和5年8月10日(木)、午前10時から正午まで(1時間30分)。  
開催日時は市議会と予定と重ならないように8月上旬を設定。  
子どもたちも夏休み中。
- ・事前準備や参加者募集方法  
事務局が製作したチラシデータを教育委員会に渡し、保護者宛てに案内を依頼。  
そのほか広報への記載やチラシ配布などで周知したうえで、二次元コードを使用し先着順で12組を募集。
- ・対象者  
市内在住の小学校4～6年生の児童とその保護者。
- ・当日の参加者  
児童10名、同伴の子ども8名、保護者11名  
欠席2組  
(子どもたちの名前を書いた本物そっくりの名札を用意した)



・当日の流れ

対応は、正副議長、議会運営委員長、3 常任委員会委員長が担当

- ①開始ブザー
- ②議長挨拶
- ③副議長挨拶
- ④市議会の説明（議会運営委員長）
- ⑤市議会クイズ（正副議長）
- ⑥記念撮影
- ⑦探検ツアー（正副議長、議会運営委員長、3 常任委員会委員長）
- ⑧議長講評
- ⑨修了証授与（議長から授与）
- ⑩アンケート記入

・探検ツアーの実施内容

参加者を2つのグループに分け探検開始

【探検場所】

- 議場（議会運営委員長が説明）
- 第1 委員会室（福祉文教委員長が説明）
- 議長応接室（正副議長が出迎え、議長が説明）
- 正副議長室（副議長が説明）
- 議会図書室（都市環境委員長が説明）
- 第2 委員会室（総務委員長が説明）

子どもたち楽しんでもらうために、探検ツアーの次第にあるシールを貼る6つのマスに、探検する部屋ごとに用意されているシールを貼っていき、全部貼り終わると記念品がプレゼントされる。

記念品は、ガチャガチャのカプセルに入れて、くじ引きのように選んでもらう工夫をして楽しさを演出。また、参加児童だけでなく、同伴の子どもにも同様に記念品がプレゼントされる。

（記念品は尾張旭市のイメージキャラクターのキーホルダーやハンドタオル）

○参加児童のアンケート結果

- ・尾張旭市議会のことがよくわかったか。
  - よくわかった 9名、少しわかった 1名
  - あまりわからなかった、わからなかったはともに0名
- ・探検ツアーの時間について（全体で1時間30分）
  - 長かった 0名、ちょうどよかった 7名、短かった 3名
- ・思ったこと、感じたこと（抜粋）
  - とても楽しかった。
  - 議会を全く知らなかったけど、今日のおかげでよくわかった。
  - 議会は固いイメージがあったけど、議員の方や議長、副議長の話にユーモアがあって楽しかった。
  - 市議会が市にとって大事な役割だということを、改めて知って応援したくなった。
  - 議場がかっこよかった。
  - 説明がわかりやすかった。

## ○経費

- ・経費は飲み物代の4,250円（34本）のみで、参加記念品については在庫で賅った。

## ○総括

尾張旭市議会の主催として、正副委員長、議会運営委員長、3常任委員会委員長など議員が自ら市議会クイズや探検ツアーを行うことで、市議会や議員を身近に感じてもらうことができ、参加児童から好評だった。

今後の課題としては、より多くの児童に「わくわく親子議会探検ツアー」に参加してもらえるように、開催方法等を検討する必要がある。

（先着順で、一日で受付終了となった）

## ○尾張旭市議会のその他の主催者教育

- ・令和元年度に議会改革推進特別委員会において、高校生との「高校生議会」、大学生との「意見交換会」の実施が認められた。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症により開催できず。
- ・令和3年度は「高校生議会」を新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で縮小開催。（旭野高校の生徒20名程度が参加し、3つの委員会に分かれて実施）
- ・令和4年度は「大学生との意見交換会」を実施。（名古屋産業大学の2つのゼミから学生が26名ほど参加し、カフェトークの形にて実施）

## ○所感

親子で参加することで、子供たちも安心して参加でき、保護者の方も子供たちと同様に市政、市議会への関心、意識を深めて頂ける機会となる取り組みである。

その時だけでなく、その後も関心を継続させる取り組みをすることができれば、その後の中学生、高校生、大学生、社会人となった年代でも市政や市議会に意識を向けてもらえると考ええる。

さらに社会に出た後も、かかわりを持てるのではないかと考える。

尾張旭市の総括にもあったように、より多くの児童に参加してもらえるように開催時期や実施方法など検討することは多々あると思うが、参加者が増え関心を持つ児童が増えるような取り組みは重要であると考ええる。



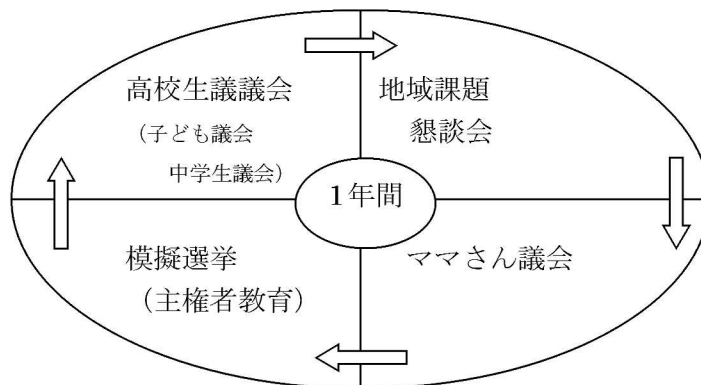
【可児市 「子ども議会、高校生議会」】

○可児市議会の議会改革（抜粋）

- ・ H16 子ども議会の開催、以後毎年開催
- ・ H23.2 「議会改革のためのアンケート調査」を実施  
H28.1、R3.3 と実施
- ・ H26.2 高校生議会の開催  
H27.2、H28.2、H29.2、H30.2、H31.2、R2.2、R4.3、R5.3 と開催
- ・ H26.7 地域課題懇談会の開催  
H27.6、H28.7、H29.7、H30.8 と開催
- ・ H28.3 可児高校模擬選挙  
H29.11、R1.10、R3.11 と実施
- ・ H28.8 ママさん議会の開催
- ・ H31.1 子育て世代との意見交換会
- ・ R 4.8 中学生議会の開催
- ・ R 5.3 小学生のお仕事体験

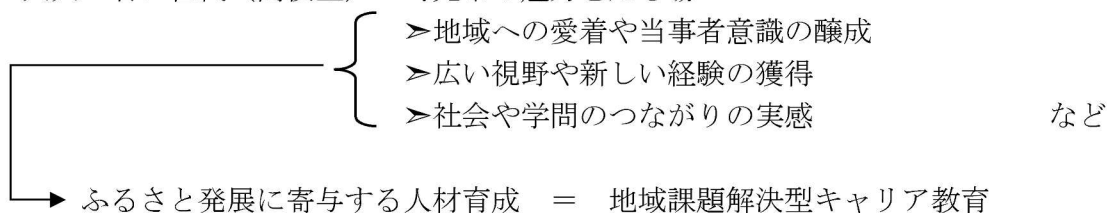
上記のように様々な事業に取り組み、継続的に実施。

○若い世代との交流サイクル・・・議会・学校・行政・地域との協働



○高校生議会開催の経緯・目的

- ・ 可児高等学校が求める大人とかかわる機会と、議会が求める若い世代の意見を聴収する機会を設ける方向性が合致した。
  - 高校・・・キャリア教育推進のためには、地域で活動する大人と関わる機会とその運営者が必要。
  - 議会・・・基本条例に規定される市民は有権者だけではない。20歳未満の若い世代と関わる機会が必要。
- ・ 大人×若い世代（高校生） ➡ 可児市の魅力を知る場



## ○高校生とのグループワーク

- ・「I P E（多職種間連携教育）手法を活用した意見交換」

複数の領域の専門職者が連携し、互いに学びあい、互いのことを学ぶ仕組みを参考に、専門職の主任ケアマネや保健師などの地域課題に取り組む複数の専門家に加えて、議員や高校生などの若い世代が地域の課題を一緒に話し合い、認識を深めあうため、議場での活動報告の後に、「介護ケア事例を題材に意見交換を実施した。

## ○高校生議会

- ・生徒の募集（選出）は可児高校の探究部に依頼。
- ・高校生が普段の議員席側に座り、議員は行政側の席に座り議会を開く。
- ・H26.2は議会主催のキャリア教育支援の取り組みを高校生議会として、議員16名 大学生2名、高校生24名職員等15名が参加して実施した。  
テーマは若い世代の意見を聞く機会をどう設けるのか意見交換し、意見書を採択した。
- ・以降の高校生議会では、市長、議員、支援団体、高校生、職員が参加し、「子育て支援」、「キャリア教育活動計画」、「学習支援（学校以外の学習環境）」、「多様化共生」「社会福祉（子育て、高齢者）」などについて意見交換がされ、意見書を採択したり行政実務をクロスロード的な手法により議論し、議場において発表するなどの活動を続けている。
- ・コロナ禍におけるR4では、従来のような意見交換といった形ではなく、成果発表の形式（2部制）で活動報告やマニフェスト提案が行われた。  
第1部では可児高等学校の探究部のコアメンバーの生徒が調査・研究を進めている3つプロジェクトについての活動報告がなされた。
  - 環境・・・環境課題に向けて
  - 教育・福祉・・・福祉政策や子どものメンタルヘルス
  - 可児市のブランディング戦略・・・移住促進に向けて第2部では模擬選挙のマニフェストから市への提案がされました。
  - 教育の経済的支援、外国籍市民への支援
  - 平等に医療が受けられ、健康で生活ができる都市
  - 移住促進政策
- ・令和5年は、可児高等学校の探究学習の成果発表がされた。

## ○若い世代への取り組みの成果

- ・議会側  
若い世代と交流し意見交換することで、多様な声を拾い上げ地域課題に対する新たな認識や取り組みができる。
- ・若い世代側  
様々な大人と接し地域課題を自ら考えるきっかけとなり、高校生議会などを通して今後は地元市民や他学校などと連携して活動してみたい。  
その場限りのものでなく、可児市のために何ができるかをそれぞれが考えていく原動力のひとつになっている。

## ○模擬選挙

- ・ 高校生の段階では受動的にしか選挙について学んでいない ⇒ 「人を選ぶ」という経験がない ⇒ 若者の投票率が低い
- ・ H28年の模擬選挙では、選管職員、議員がアドバイザーとなり生徒と事前に5回の打ち合わせをし、生徒による争点案の抽出とマニフェスト案を作成。候補者の演説会、グループディスカッション、模擬投票を実施した。
  - 生徒代表による趣旨説明
  - 候補者3名による立会演説会
  - 生徒1, 2年生全員が6名程度のグループに分かれマニフェストの検証
  - 本番同様の投票用紙等を使って模擬投票
  - 生徒による開票
- ・ 期日前投票も実際に行った。
- ・ 令和1年に行われた第3回の模擬選挙では、高校生の中心メンバーと議員、立候補者（市職員）と一緒にミーティングを行い政策内容や選挙公報、ポスターのデザイン等を検討。1・2年全員とPTA、市職員、議員が参加（高校主催で市選管と市議会が共催）
- ・ 主権者教育を受けた生徒は実際の選挙への投票率が高い。

## ○子ども議会

- ・ 平成16年より毎年開催。
- ・ 可児市ならぬエビ市という仮想の市を想定して議論。
- ・ 令和2年の開催では帝京大学可児小学校の6年生41名が参加。
  - ① 議会はどんなところ
  - ② 議会体験をしてみよう（財政難の中、どの事業を廃止するか意見を出し合い最後に採択を行う体験をした）
    - 子供医療費助成の廃止
    - お年寄り向け無料バスの廃止
    - 市立図書館の廃止
    - 市民温水プールの廃止 など

## ○小学生のお仕事体験（R5.3）

- ・ 可児商工会議所青年部の主催で「小学校の楽しい職場お仕事体験 in 可児」が開催され可児市議会もブース出展。
- ・ 集まった子どもたちに、クイズを交えて議会の仕組みについて議員が説明。

## ○中学生議会

- ・ R4.8 初めての中学生議会を可児青年会議所主催で、可児市・可児市議会協力のもと開催された。
- ・ 市長、教育長、議員13名、中学生9名、職員が参加
- ・ 西可児中学校の3年生が主権者教育の一環として、授業で出された各クラスの意見や政策を参考にして、1・2班に分かれ、可児市が抱える地域課題や政策について考え提案した。

## ○地域課題懇談会

- ・ H26.7 地元医師会の協力のもと、可児市議会が開催。

医師会長の講演と「健康づくり」をテーマに意見交換を実施。

(議員 19 名、医師 9 名、高校生 23 名、職員 11 名が参加)

- ・ H27.6 可児金融協会の協力で開催。

「どんな街に住みたいか・自分でできること」をテーマに意見交換

(議員 17 名、金融協会 13 名、高校生 66 名が参加)

- ・ H28.7 可児商工会議所と共催で開催。

「可児の担い手づくり～企業が求める人材・高校生が求める企業～」をテーマに意見交換。

(議員 20 名、商工会議所 21 名、高校生 58 名が参加)

#### ○ママさん議会

- ・ H28.7 ママさん議会ワークショップ

8 月開催予定のママさん議会の企画会議として開催。

高校生がファシリテーターとなり子育て世代の女性とともに可児市の子育て環境や駅前に建設予定の拠点施設（現：子育て健康プラザ **mano**）に関する意見交換を実施。

- ・ H28.8 子育て拠点施設の運営に関する意見交換を行い、結果を報告。

子育て世代の女性の声を聴く機会を設けることについての意見書を採択。

(市長、議員 18 名、子育て世代の女性 27 名、職員 2 名が参加)

#### ○所感

早期から小学生の議会を開催し、市政、市議会などに関心を高める働きかけをすることにより、若い世代の意識が高い状況が構築できるのではないかとされる。

高校においては、可児高校自体がキャリア教育を推進しており、高校と市議会との求めるものが一致したことにより、高校生議会の活動が進んだ結果と考える。

市民全体ではまだ、市政、市議会に対する関心度は上がってきていないようだが、子ども議会や中学生議会、高校生議会を経験した若い世代が社会に出た際には、関心も持ってもらい、市政などにも参画してもらえる下地は構築されているように感じられ、今後の関心度は早期に高まっていくのではないかとされた。

子ども議会、中学生議会、高校生議会、ママさん議会、子育て世代との意見交換会など様々な活動に積極的に取り組む市議会の働きが、他の市町に比べて二つ三つ前を進んでいると感じられた。

改めて主権者教育の必要性を考えさせられた。



# 令和5年度 豊明市議会 議会運営委員会 行政視察 報告書

鈴木 智和

## 【愛知県 尾張旭市】

- ・視察日：令和6年1月29日(月) 10:00～11:00
- ・視察先：尾張旭市役所 北庁舎4階 第1委員会室
- ・視察の目的：「わくわく親子議会探検ツアー」について

### ■わくわく親子議会探検ツアー目的

- ・次代を担う子ども達とその保護者に、市議会及び市政への理解と関心を深めてもらう。

### ■わくわく親子議会探検ツアー開催経緯

- ・令和24～30年度：議場を使用して「子ども議会」を実施。

令和元年度は主催を秘書課から議会事務局に、令和5年度は市議会主催に変更。

### ■令和5年度わくわく親子議会探検ツアー実施内容

- ・令和5年8月10日(木) 夏休み期間中
- ・周知方法：広報、チラシ、4～6年生の保護者連絡システムに送信等
- ・募集方法：先着12組 QRコードを利用
- ・参加者：10組29名 欠席2組
- ・主な内容：市議会の説明、市議会クイズ、記念撮影、探索(議場・委員会室・応接室・正副議長室・図書室等)、修了証授与、アンケート

### ■わくわく親子議会探検ツアー結果

#### ＜アンケート結果から＞

- ・とても楽しかった、議会の事がおかげでよく分かった、かたいイメージがあったけどユーモアがあって楽しかった、市議会が市にとって大事な役割だということを、改めて知って応援したくなった。

#### ＜総括＞

- ・市議会や議員を身近に感じてもらい、参加児童から好評。
- ・今後の課題としてより多くの児童に参加してもらえるよう検討していく必要がある。

### ■視察の所感

市議会主催に変更し、児童の夏休み期間に予算をかけずに開催し議員の手作り感が全面に滲み出ている。児童も夏の思い出、夏休みの研究になったと思う。参加者が先着順で直ぐに埋まったとの事、きっと漏れて残念に思った児童・保護者等がいたと思う。次回開催時は、抽選等も検討されたら市民サービス向上に繋がると思う。



## 【岐阜県 可児市】

- ・視 察 日：令和6年1月29日(月) 13:30～15:00
- ・視 察 先：可児市役所 5階第1委員会室
- ・視察の目的：高校生議会・こども議会について

### 【高校生議会】

#### ■キャリア教育支援

県立可児高等学校が求める大人と関わる機会と議会が求める若い世代の意見を聴取する機会を設ける方向性が合致。

#### <高校>

キャリア教育推進のためには  
地域で活動する大人と関わる  
機会とその運営者が必要

合 致

#### <議会>

基本条例に規定される市民は  
有権者だけではない。20歳未満  
の若い世代との関わる場が必要。

- ・平成26年1月15日 研修会

参加対象：市議会議員及び職員(介護専門職)

- ・平成26年2月10日 IPE手法を活用した意見交換(グループワーク)

専門家に加えて議員・高校生が地域の課題を話し合い。

#### ■高校生議会

平成26年2月 若い世代の意見を聞く機会をどう設けるかの意見交換、意見書採択。

平成27年2月 子育て支援をテーマに意見交換、意見書採択。

平成28年2月 29年度のキャリア教育活動計画について話し合い、意見書採択。

平成29年2月 行政実務をクロスロード的に議論、議場にて発表。

令和2年2月 ①3つのテーマについて生徒と議員が意見交換②協議結果の報告と質疑応答

令和4年3月 成果発表会の形式で活動報告やマニフェスト提案。

- ①「環境」「教育・福祉」「可児市のブランディング戦略」の活動報告
- ②「教育の経済的支援、外国籍市民への支援」「平等に医療が受けられ、健康で生活ができる都市」「移住促進政策」を提案。

令和5年3月 可児高等学校から探求学習を通じた市への提案があった。

#### <成果と課題>

#### ◇高校生の感想

議員や市長からの意見・質問などから新しい視点に気づくことができた、地域課題の解決のためには市民が賛同できるものである必要があり、理解してもらう必要があると強く感じた、「税金を使って支援すればよい」ものではなく、支援後の未来を見据えた持続可能なものである必要があると感じた。



#### ◇議会側

多様な声を拾い上げ地域課題に対する新たな認識や取り組みへのきっかけとすることができる。

#### ◇高校生などの若い世代側

地域課題を自ら考えるきっかけとなり高校生議会などを通して今後は地元市民や他学校などと連携して活動してみたいといった声もあり、その場限りのものではなく、可児市のために何ができるか考えていく原動力になったのではないかと。

#### ■高校生模擬選挙

##### <課題>

・生徒会選挙は全員が半ば強引に投票(受動的)、一方、公職選挙は自分から投票所に行き投票(積極的)によって、「人を選ぶ」という経験がない⇒模擬選挙

##### <平成28年7月参院選>

- ・県立可児高校、3月に模擬市長選挙⇒投票率90.1%
- ・私立岐阜聖徳学園高校、6月に教員が候補者に扮し模擬選挙⇒投票率75.8%

◇積極的な主権者教育が必要。

#### 【子ども議会(平成16年より毎年実施)】

#### ■令和2年11月17日帝京大学可児小学校6年生

- ・議会のしくみ
- ・議会体験：財政難の中、どの事業を廃止するか意見を出し合い⇒最後に採決

#### ■令和5年3月商工会議所青年部主催の「小学生の楽しいお仕事体験」

- ・市議会もブースを出展し、議会の仕組み・テーマを話し合い。

#### 【初！中学生議会】

#### ■令和4年8月、青年会議所主催で、行政・市議会協力のもと開催

- ・西可児中学校3年生の主権者教育の一環として、各クラスの意見や政策を参考に地域の課題や政策について考えユニークな案が提出された。
- ・議員は生徒の提案に対し質問する役、生徒たちはメンバーと相談しながら自分たちの意見をしっかりと答えていた。地域の課題について仲間と考え議場で自分たちの考えを分かりやすく伝える体験が出来た。

#### ■視察の所感

このたびの行政視察の冒頭に可児市の議会改革のさまざまな説明があった。

可児市議会では、平成23年から数回、議会改革のための市民アンケートを行っている。その結果から、広報広聴機能のさらなる充実、議員の資質向上、議会機能の充実、議会活動・議員活動の見える化、を課題とした。

具体的な取り組みとしては、若い世代との交流や予算決算サイクルの確立、委員会代表

質問等本市が取組んでいない議会改革を率先して行ってきたが、市民の認知度は低く（「わからない67.9%」）、議会に対する市民の関心度も低下傾向が続いている。市民から信頼される議会となるために取組むべき課題として、「こども・高校生議会」がある。

しかし、直近の可児市議会議員選挙の投票率を見ると、令和元年7月⇒令和5年7月においては▲17.77ポイントと減少傾向となっている。これには昨今の世相も関係していると思うが、それが全てではないと考える。市民は「こども・高校生議会」はどこか別世界の話と捉えているかもしれない。可児市の議会改革・「こども・高校生議会」はとも参考になる取組みが多くあった。議員活動で大切なことは市民お一人おひとりの小さな声に耳を傾け現場に行き調査、誠意をもって対応していくことではないかと思う。その行動が市民にとって議員活動を理解していただく機会ではないかと思う。

#### ◆可児市議場



## 令和5年度 議会運営委員会 行政視察報告書

こんどうのぶお

愛知県尾張旭市（令和6年1月29日（月）午前 視察）

### 1. 市の概要

・県の北西部にあり、名古屋市の北東に接しており、名古屋市中心部まで電車で20分と通勤・通学に恵まれた住宅都市として発展。市街地は尾張旭駅周辺を中心に広がり、名鉄瀬戸線や国道363号線が市域を横断。豊かな緑やため池などが多く、愛知県森林公園が市域の6分の1を占める。日本紅茶協会認定の「おいしい紅茶の店が日本一多い街」としてPRしている。

面積 21.03km<sup>2</sup> 人口 83,504人 総世帯数 35,080世帯 老年人口比率 25.5% 財政力指数 0.93 経常収支比率 88.9% 自主財源指数 60.4% 歳出総額 253.6億円

### 2. 視察テーマ「わくわく親子議会探検ツアー」について

#### ・わくわく親子議会探検ツアー開催経緯について

はじまりは平成24年度～30年度 状況としては市長を囲む子ども会議（市長部局担当）において、議場を使用して、子ども会議を実施。

令和元年は市長を囲む子ども会議において、子ども会議を実施せず、議場も使用しなくなった。子どもたちに、議会の事を知ってもらう機会の喪失。そこで議会事務局主催で、子どもたちにもっと議会を知ってもらう機会をつくる為、わくわく親子議会探検ツアーの開催を企画した。

令和元年度は議会事務局主催だったが、議会や議員を身近に知ってもらうため、令和5年度は市議会主催に変更した。

#### ・わくわく親子議会探検ツアーの実施内容について

目的：次世代を担う子ども達とその保護者に、尾張旭市議会及び市政への理解と関心をふかめてもらう。

開催日時：令和5年8月10日（木）10時～12時

開催場所：尾張旭市役所 議場外

開催方法：市内在住の小学校4年～6年生の児童とその保護者を対象

市議会クイズ、議場等の探検、記念撮影などを実施

参加者：29名（児童10名、同伴の子8名、保護者11名）

募集方法：先着12組 二次元コードを使用した募集（公募）

実施内容：当日の流れ

- ①開始ブザー
- ②議長挨拶
- ③副議長挨拶
- ④市議会の説明
- ⑤市議会クイズ

⑥あさびーと記念撮影 ⑦探検ツアー ⑧議長講評 ⑨修了証授与 ⑩アンケート  
記入

市議会の説明：議会運営委員長によるパワーポイントを使用

市議会クイズ：正副議長による〇×クイズで、議長がクイズを出し、副議長が正解の発表と解説をおこなった。

スペシャル問題も取り入れた。(好評との事)

探検ツアー：「あさびー班」と「このは班」の2グループに分かれて探検

探検場所：議場、第1委員会室、議長応接室、正副議長室、議会図書室、第2委員会室

※子どもに楽しんでもらえるような工夫

①探検をする部屋ごとにシールを準備、次第に張ってもらう。

②シールを全部張り終えた子どもに記念品のプレゼント。ガチャガチャのカプセルに入れてくじ引きのように選んでもらった。

修了証の授与…議長より一人ひとりに授与

アンケート結果…尾張旭市議会の事がよくわかった…10名中9名

探検ツアーの時間について…ちょうどよかった10名中7名

参加児童のアンケート結果(抜粋)

- ・とてもたのしかった。
- ・議会を全く知らなかったけど、今日のおかげでよく分かった。
- ・市議会が市にとって大事な役割だということを、改めて知って応援したくなった。

経費：飲み物(水) 4,250円

総括：尾張旭市議会の主催にて市議会や議員を身近に感じてもらうことができ、参加児童から好評であった。

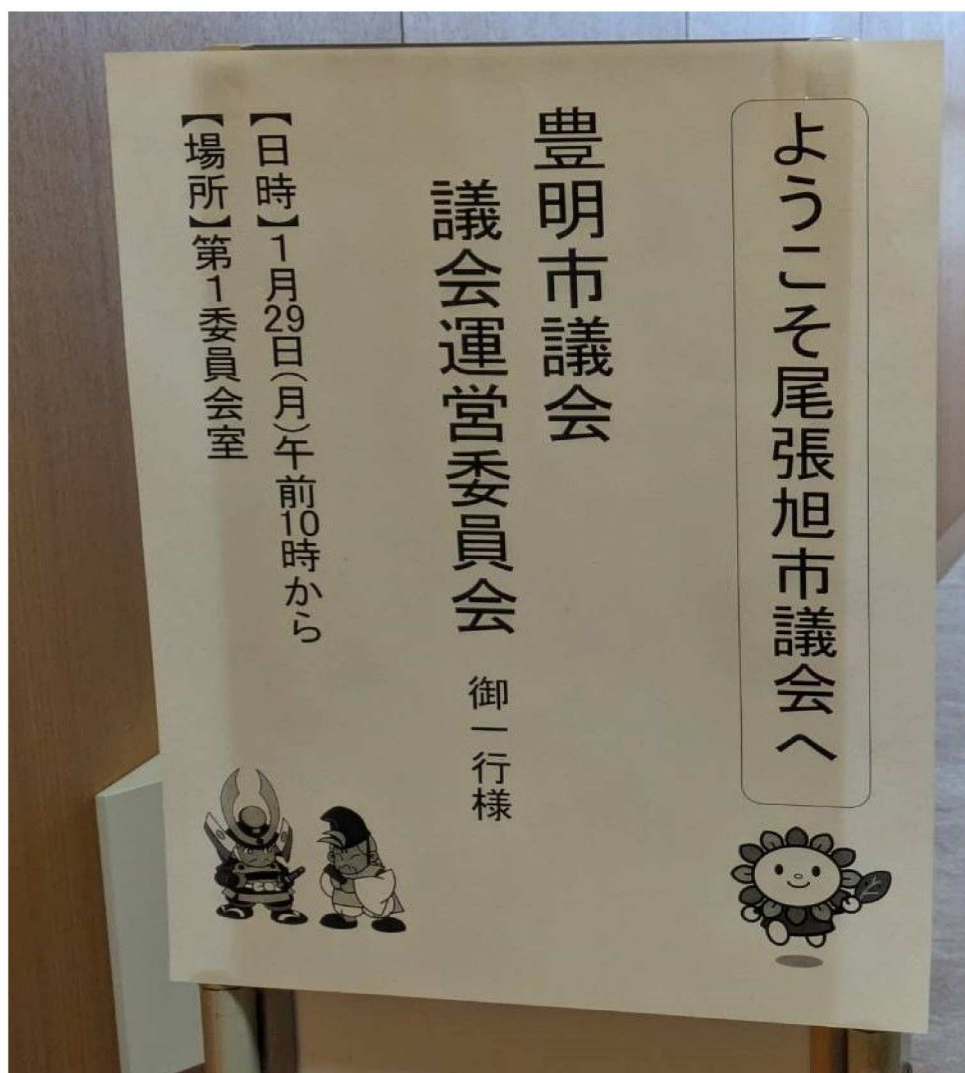
今後の課題として開催方法等の検討が必要。

尾張旭市議会の主権者教育について

- ・令和3年度は「高校生議会(旭野高校)を実施
- ・令和4年度は「名古屋産業大学との意見交換会」を実施

所感

・当市と比べて非常に進んでいる。クイズに関してはスペシャル問題を取り入れ子ども達が飽きないようにし、又プレゼントもガチャガチャのカプセルにて渡すなど工夫もある。こども議会より先ずはわくわく親子探検ツアーの実施の方が主権者教育（政治体験教育）として良いのではないか。生徒会を中心とした20名の高校生議会、大学との意見交換会はテーマを4つ決めておこなう方式。今後の実施については今後の開催予定はないとの事だが、当市でも取組むべき研究課題と考える。



岐阜県可児市（令和6年1月29日（月）午後 視察）

## 1. 市の概要

・岐阜県の南部、岐阜市・名古屋市の両県都から30km圏内に位置する。市の北端部には木曾川、中央部には可児川が流れ、江戸時代には東西に中山道が横断し、木曾の渡しの川湊として栄えた。近年は鉄道や道路網の整備により住宅都市として人口増加し、県下最大級の工業団地も立地。安土桃山時代の茶の湯で人気だった美濃桃山陶が焼かれた地でもある。  
面積：87.57 km<sup>2</sup> 人口：102,175人 総世帯数：42,233世帯 老年人口率：26.88% 財政力指数：0.87 経常収支比率：93.6% 歳出総額 298.2億円

## 2. 視察テーマ「子ども議会・高校生議会について」について

### ・子ども議会について

平成16年度より実施

小学校の社会科授業の一環として、市役所や議場の施設見学と併せ、模擬議会を開催。子どもたちが議員席や執行部席に座って発言するなど、政治や行政に興味、関心を持つように進めている。

令和2年11月17日（火） 帝京大学可児小学校6年生 41名

（内容）①議会ってどんなところ？

②議会体験をしてみよう！

### ・高校生議会について

可児市議会では「高校生議会」や「地域課題懇談会」として、高校生が大学進学や就職によって市外へ流失する前に、様々な職業や経験がある大人と接する機会を設けることで、地域に対する愛着や当事者意識を高めること、地域の様々な課題の解決に必要な広い視野や高い専門性を身に付けさせ、ふるさと可児市の持続的な発展に寄与する人材の育成を行うことを目的とした事業を行っているとの事。

実施にあたっては、市職員や地元関係機関、NPO団体などにも趣旨を説明・理解して頂き、連携・協力して実施しています。

当初は、岐阜県立可児高等学校が実施する「地域課題解決型キャリア教育（エンリッチプロジェクト）」を支援する事業として始まりましたが、現在はより多くの高校生を対象にすべきとの判断から、平成27年6月より可児工業高校、東農実業高校を加えた3校を対象とし、また他の高等学校等へも取り組み拡大を進めているとの事。

H26.2.10 高校生議会① （高校生による活動報告・介護に関する意見交換）

H27.2.10 高校生議会② （高校生による活動報告・子育て関係者との意見交換）

H28.2.10 高校生議会③ （活動報告・キャリア教育に関する意見交換）

- H29.2.9 高校生議会④ (各テーマで行政クロスワード手法により議論、発表)  
H30.2.8 高校生議会⑤ (グループディスカッションにより議論、発表)  
H31.2.5 高校生議会⑥ (大河ドラマを契機とした市のPR、集客について)  
R2.2.5 高校生議会⑦ (各テーマで意見交換・発表後、意見書の提案、採択)  
R4.3.25 高校生議会⑧ (活動報告・模擬選挙マニフェストから市への提案)  
R5.3.24 高校生議会⑨ (活動報告・活動を通じての市への提案)

#### 第9回高校生議会において可見高校の探究学習の成果発表

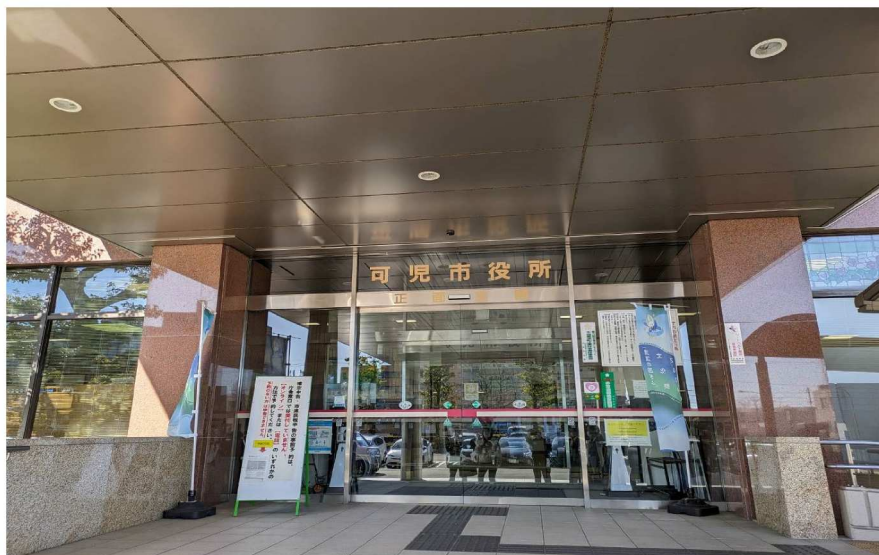
#### ◆探究学習を通じた市への提案

要望事項…可見市市役所内に若者の探究活動を支援する部署を設置すること

### 3. 所感

・可見市においては見習うべきところが多い。高校生議会については将来、可見に戻ってくれる愛着心を育む取り組みは特に賛同できる点である。今回は子ども議会と高校生議会に絞ったテーマにて視察をしたが、「地域課題懇談会」「ママさん議会」令和4年には初の「中学生議会」も開催している。

主権者教育とは、若者が様々な利害が複雑に絡み合う社会課題に対して多様な意見を出し合い、合意形成をし、解決につなげる、知る、考える、意見をもつ、論じる、決める。このようなことを学ぶことである。



## 議会運営委員会行政視察報告書

武谷 としお

視察日時： 令和6年1月29日(月)

視察先： 愛知県尾張旭市 ・親子議会探検ツアーについて  
岐阜県可児市 ・こども議会・高校生議会について

参加者： 委員8名、議会事務局長

わくわく親子議会探検ツアーについて(愛知県尾張旭市)

**【尾張旭市の特色】** 県の北西部にあり、名古屋市の北東に接しており、名古屋市中心部まで電車で20分と通勤・通学に恵まれた住宅都市として発展。市街地は尾張旭駅周辺を中心に広がり、名鉄瀬戸線や国道363号線が市域を横断。豊かな緑やため池などが多く、愛知県森林公園が市域の6分の1を占める。日本紅茶協会認定の「おいしい紅茶の店が日本一多いまち」としてPR。

### 【開催経緯について】

- ・平成24～30年度まで市長を囲む子ども会議(市長部局が担当)において議場を使用して子ども議会を実施していた
- ・令和元年度～子ども議会を実施せず議場も使用しなくなった(市長が出向く形)→子供たちに議会のことを知ってもらう機会の喪失
- ・令和5年度より子どもたちに議会や議員を身近に感じてもらうため、議会事務局主催から市議会主催に変更した→議員自ら説明や案内を行うスタイルへ

### 【所感】

議会事務局と議員が一体になって、次代を担う子どもたちとその保護者に市議会と市政への理解と関心を深めてもらうため、日程の調整から準備・広報活動など実施している点が大変参考になった。また、子どもたちに楽しんでもらえるような創意工夫がなされていた(探検やシールの準備、修了証の授与)

子どもたちへの参加賞として、前回は在庫品で賄っていたということのようで、実際のくらい開催費用が掛かるのか本市が開催するときになったら、しっかり予算組みをして進めていきたい。課題としては、即日に参加者が定員数に達したようで多くの子どもたちが参加できるよう工夫が必要である。また、参加した子どもたちにはアンケートを取ったようだが、本市で開催する場合には保護者や参加した議員、議会事務局などにもアンケートを取り次へつながらよう検証をしたい。



## こども議会・高校生議会について<議会改革について> (岐阜県可児市)

【可児市の特色】県の南部、岐阜市・名古屋市の両県都から 30 km圏内に位置する。市の北端部には木曾川、中央部には可児川が流れ、江戸時代には東西に中山道が横断し、木曾の渡しの川湊として栄えた。近年は鉄道や道路網の整備により住宅都市として人口増加し、県下最大級の工業団地も立地。安土桃山時代の茶の湯で人気だった美濃桃山陶が焼かれた地でもある。

### 【高校生議会開催の経緯】

可児高等学校が求める大人と関わる機会と議会が求める若い世代の意見を聴取する機会を設ける方向性が合致。高校生も市民の一人として高校生の意見を把握し、市政に反映をしていく。また、若い世代の都市部流出が地方衰退につながるため、地域の大人と関わる場所を提供することで、地域への愛着や当事者意識をもってもらい、新しい体験により、広い視野で社会とのつながりを実感してもらう。

### 【若い世代への取り組みの成果と課題】

実際に参加した高校生の感想としては、議員や市長からの意見・質問などから新しい視点に気づくことができ、今後の活動の糧になった。地域課題の解決のためには市民が賛同できるものである必要があり、しっかり説明して理解してもらう必要があると感じた。

議会側の感想としては、若い世代と交流し意見交換することで、多様な声を拾い上げ地域課題に対する新たな認識や取り組みへのきっかけとすることができる。また、高校生などの若い世代側の感想としては、様々な大人と接し、地域課題を自ら考えるきっかけとなり、高校生議会などを通して今後は地元市民や他学校などと連携して活動してみたいといった声もあり、その場限りのものではなく、市のために何ができるかをそれぞれが考えていく原動力のひとつになっているのではないかと感じた。

### 【所感】

様々な市民の声を聞くために高校生議会のほかに、子ども議会や中学生議会、ママさん議会を開催しており、地元医師会や金融協会、商工会議所の協力を得て地域課題懇談会も実施していることに大変感服している。本市でも取り組んでみたいと思うが、出来るところから検証し開催できるよう進めていきたい。また、議会改革についても学ばせてもらい、多種多様で先進的な取り組みをされており、可児市はあらゆる場面で市民が議会とつながっていると感じた。本市は相当遅れていると実感したので、学び感じたことを議員と議会事務局全体で共有し、更なる議会改革につなげていきたい。

令和 6 年 1 月 29 日

豊明市議会 議会運営委員会 行政視察報告書

毛受明宏

場所：愛知県尾張旭市・岐阜県可児市

参加者：議会運営委員会 委員全員・議会事務局長

① 愛知県尾張旭市議会『わくわく親子議会探検ツアー』について

経緯

尾張旭市では

- ・平成 24～30 年度に[市長を囲む子ども議会]を議場にて実施
- ・令和元年度～[市長を囲む子ども議会]において、子ども議会を実施せず議場も使用しなくなった。

↓

子ども達が議会について知る機会を失う

↓

[議会事務局主催]で、子ども達に議会を知ってもらう機会を作る

↓

『わくわく親子議会探検ツアー』の開催

・令和元年度に[議会事務局主催]で開催し、コロナウイルス感染症拡大防止期間の不開催・開催中止を経て、令和 5 年度に[市議会主催]で議員自らの説も居や案内で開催し、その目的としては、次世代を担う子ども達とその保護者に議会及び市政への理解と関心を深めてもらうため。

・開催場所は尾張旭市の議場外で小学校 4 年生から 6 年生の児童とその保護者を対象に市議会クイズ・議場等の探検・記念撮影などを実施。募集方法としては先着 12 組二次元コードにて募集

尾張旭市議会の首位権者教育として

令和元年度より、議会改革推進特別委員会にて「市誤解と高校・大学との連携」について諮られ、高校については「高校生議会」、大学については「意見交換会」を実施することが認

め合われる。

令和2年度はコロナにより開催不可、令和3年度に「高校生議会」を縮小開催、令和4年度「大学との意見交換会」が行なわれた。

まとめ

豊明市議会としても子ども議会の開催実績は有しておりますが、その時に感じた開催時期、参加する子ども達とのスケジュール調整他について視察説明後にお聞きしました。

子ども達の環境、塾やスポーツクラブの予定を検討すると、開催時期は夏季休暇中のお盆時期前後が妥当かと考える。



## ② 岐阜県可児市議会『議会改革(高校生議会・子ども議会)』について

視察が始まりまずは可児市議会の議会改革について一通り説明を受ける。

若い世代との交流りサイクルとして、議会・学校・行政・地域との協働として1年間のPDCAサイクルで循環をさせる。

可児市議会基本条例第2条「市内住居・通勤・通学・個人または市内で活動する団体」⇒高校生も一人の市民、高校生の意見を把握し、市政に反映、若い世代の都市部流出で地域衰退、地域の魅力を知る場を提供



ふるさと発展に寄与する人材育成

可児市の魅力を知る場⇒地域への愛着や当事者意識の醸成⇒広い視野や新しい経験の獲得  
⇒社会や学問の繋がりの実感



## ふるさと発展に寄与する人材育成＝地域課題解決型キャリア教育

### 参加した高校生の意見

若い世代への取り組みの成果と課題は、議員や市長からの意見・質問などから新しい視点に気付くことが出来、今後の糧になる。地域課題の解決のためには市民が賛同出来るものがある。説明して理解をしてもらい必要がある。「税金を使ってお金を出し支援すればよい」と言うものでもなく、支援後の未来を見据えた持続可能なものである必要がると感じる。

様々な大人と接し、地域課題を自ら考えるきっかけとなり、高校生議会などを通して今後は地元市民や他学校などと連携して活動してみたいなど、その場限りのものでなく、可見市のために何ができるかを考える原動力となる。

議会としても、若い世代と交流し意見交換することで、多様な声を拾い上げ地域課題に対する新たな意識や取り組みへのきっかけとすることが出来る。

### 模擬選挙について

なぜ若者の投票率が低いのか？小中高校生の段階では、受動性にしか選挙について学んでいない⇒「人を選ぶ」という経験がない。※受動性：生徒会選挙では、全員が半ば強引に投票 積極性：自分から投票所に行っていないことに繋がっていく。

### まとめ

ご説明の中で感じたポイントとしては、市内の各種団体他と議会との関わり合いが多く感じた。日頃、市民との交流が議会改革に繋がって行くことを議員も理解して活動をしている。活動がしっかりしていて、議会が将来を見据え一丸となって取り組んでいる。

